

1. 計画名称

茅野市スポーツ推進計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	(R4・総合評価共通) 現在の総合体育館などのスポーツ施設は、昭和53年のやまびこ国体を契機として、徐々に整備を図ってきたもので、建築以来40年余を過ぎた施設が殆どで、老朽化が進んでいる。市民が安心して、安全にスポーツを行うためには、計画的な改修が必要となる。 また、市民がスポーツを親しみスポーツを長く続けるためには、地域活動をしている団体、組織への支援等を通じ、多くの市民がスポーツに取り組める環境を整備することが必要である。
今後の重点化施策番号	3	説明	計画推進に向け、施設を安全安心に利用できるよう整備が必要である。厳しい財政状況ではあるが、公園施設長寿命化計画を策定し、改修を計画的に進める。また、茅野市スポーツ協会と連携を図りながら地域スポーツ文化の興隆を目指していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	地域における子どものスポーツ機会の充実(2)	おおむね順調	(R4・総合評価共通) コロナ禍以前と同数の教室を開催することができた。参加希望者は回復し増加傾向にある。	(R4・総合評価共通) 幼児トリム教室は定員を超える応募があるため教室を増やしたいが、補助員の確保が難しい。 平日夕方に総合体育館に来ることができない方々に対応する教室の開催について検討したい。	引き続き教室の講師、補助員の確保に努めるとともに、総合体育館以外での開催を検討し、教室の開催数を増やすことにより、参加しやすい環境を作る。
2	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進(3)	やや遅れている	(R4・総合評価共通) スポーツリーダーが休会となる地区が開始するなど、各種スポーツ教室が停滞傾向にある。	(R4・総合評価共通) スポーツリーダーのなり手不足等によりコミュニティスポーツ教室が停滞している。スポーツから遠ざかっている層が参加しなくなるような新規事業を計画する必要がある。	コロナ禍も終息し、地域活動が再稼働してきている。地域スポーツ文化の裾野を拡大することを目指すとともに、市民の健康増進のためにスポーツから遠ざかっている層に向けた新規事業の計画を行う。
3	市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備(1)	遅れている	(R4・総合評価共通) 各施設の定期点検や補修工事を実施することで、最低限の安全性を維持している。 第2体育館の建設は、未実施となっている。	(R4・総合評価共通) 各種スポーツ団体において指導者の高齢化及び新たななり手不足が進んでおり、指導員の減少が続いている。 施設の老朽化が進み修繕の必要性は高まっているが、財政面の問題から改修が遅れている。	スポーツ協会及びスポーツ少年団への支援・働き掛けや中学校の運動部活動の地域移行等を通じて地域スポーツに携わる市民を増やしていくことで、各種スポーツ団体の新陳代謝を促していく。 公園施設長寿命化計画を策定し、施設の長寿命化を計画的に進めていく。
4	競技力の向上に向けた体制強化、指導者養成の推進(5)	やや遅れている	(R4・総合評価共通) 全国大会等出場者やスポーツ少年団への支援実施。各種スポーツ団体において、コロナ禍での活動自粛から徐々に通常の活動となってきている。	(R4・総合評価共通) 施設の老朽化もあり、全国大会等の開催、プロスポーツ大会の誘致は難しくなっている。 指導者の減少が進んでいる。	生涯スポーツの推進等を通じて地域スポーツ文化の裾野を広げていくことで、競技力向上を目指していく。
5	スポーツの果たす役割の活用(4)	やや遅れている	(R4・総合評価共通) 小平奈緒交流イベントをスケートセンター営業開始日に開催し、多くの子ども達が参加し、スケート文化を伝承する機会となった。	(R4・総合評価共通) 誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。	イベント等の企画、国スポ・全障スポ開催等により、市民のスポーツに対する関心を高め、地域スポーツ文化の裾野を広げていく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 茅野市スポーツ推進協議会	進捗評価及び改善内容に特段異論はなかった。 第2次スポーツ推進計画の内容検討では、部活動の地域移行を踏まえると幼児期から中学生期へのつながりが大切である。(競技力向上に向けた体制強化を施策の柱から外したところ)トップアスリートの育成を含めた競技力の向上は底辺拡大との両輪として重要であるとの意見が出された。	部活動の地域移行については、中学生期だけの問題として捉えず、手前の幼児期～小学生期やその先の生涯スポーツにつながる契機として検討していくこと、競技力の向上については、競技者の底辺拡大を前提としつつも、スポーツ協会を始めとしたスポーツ関連団体に主体的に担ってもらうことを第2次スポーツ推進計画に盛り込んでいく。
開催回数	3	
参加延べ人数	37	
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		